

うさぎとかめ通信

上越市立高田幼稚園

(週刊：園長室だより) 106周年

令和4年12月1日

第165号

HPのQRコード→



「思い→体験→表現」は、幼児・児童・生徒に一貫する、遊び・学びの基本!

【速報：11/29もも組の提案によりウーパールーパーの命名選考会が開かれ、「るっぱー」に決まりました。】

子どもの姿から

【うめ組のレストランは定休日】→

事務室はアンテナショップ?!

先日、もも組の皆さんが「たこやきおばけ」を連れて、事務室にやってきました。迫力あるおばけで、事務室は騒然としました。「事務室でうけると、園内ではやる」という噂があるのかないのか、事務室は遊びのアンテナショップになっています。もも組もうめ組もまつ組も、「お試し」に事務室に来ます。

例えば、「ガソリン屋さん」や「洗車屋さん」も事務室から始まり、「お得意様カード」もポイントカードに進化しました。最近は、「犬や猫づれの散歩」や「スイーツデリバリー」もにぎやかです。基本的に事務室ではおおむね「うけます」ので、今後もいろいろなことが園内ではやっていくと思います。



園庭・園舎から

【おはなしランチ③サラダ、④ポタージュ】→

22日(火)に、読み聞かせの会がありました。ボランティアの皆様、ありがとうございました。うめ組とまつ組、そしてもも組に分かれての読み聞かせでした。『もこもこもこ』や『ぴっけやまのおならくらべ』など、愉快的な絵本が続きました。子どもたちの聞き方も高まり、しっかりと楽しんでいました。

25日(金)は、「おはなしランチ③サラダ」と「おはなしランチ④ポタージュ」!元となった絵本は『ぐりとぐらとくるりくら』と『ぐりとぐらとすみれちゃん』です。「ぐりとぐらサラダ」も「すみれかぼちゃのポタージュ」も、とてもおいしかったです。今年度はこれで終了です。読み聞かせの会の井上様、市教委の富田主任様、そして本園の調理員さんに感謝します。



キーワード

【朝陽を受けたまつ組のアートです】→

〇13歳までのアート思考

関東甲信越静地区造形教育研究大会新潟大会での末永幸歩様のご講演です。

アート思考とは、「自分なりのものの見方」で世界をみつめ、「自分だけの答え」を創り、そして、「新たな問い」を生み出すことです。そして、13歳までの子どものアート思考を育成するには、大人は「場」を用意し、あとは「見守る」ことが大切です。「見守る」とは、アート(表現活動)に取り組む子どもの「言葉にうなづく」「言葉をオウム返しする」「まねをする」などの行為です。子どもは諸感覚を発揮し、現実と空想を混在させながら、自由奔放な見方でアートを楽しむため、いっしょに楽しむ姿勢が重要です。この姿勢は、高田幼稚園の日常的な光景のようです。(参考：末永幸歩『13歳からのアート思考』)

